



📌 関連する授業：「地球環境科学」

キーワード

環境 地球環境 地球温暖化 環境ホルモン（内分泌攪乱物質）
オゾン層 酸性雨 砂漠化 自然保護 環境保全 海洋汚染
水質汚濁 廃棄物 放射性廃棄物 ごみ リサイクル

》》》 入門的な情報源 《《《

そもそも「環境問題」とはということなのか、さまざまなキーワードの内容をおさえておきましょう。

【図書館で所蔵している図書の一例】※辞書類は特に事情がない限り最新版を見るようにしましょう。

資料情報	請求記号	配架場所
『現代用語の基礎知識』自由国民社 毎年発行	R813.7/G	3F 参考図書
『最新環境百科』丸善出版 2016	519/M	3F
『地球環境キーワード事典 五訂』中央法規 2008	519/C	3F

「聞蔵ビジュアルⅡ」の「知恵蔵」も利用できます。（インターネット・学内のみ）

また、環境問題に関心を持つための入門的な図書として、例えば次のものがあげられます。

資料情報	請求記号	配架場所
『「環境を守る」とはということか 環境思想入門』尾関周二ほか/編 岩波書店 2016→守るべき「環境」とはそもそも何かという根本的な問題を解説しています。	519/O	3F ブックレット
『地球温暖化 ほぼすべての質問にこたえます』明日香壽川 岩波書店 2009 →地球温暖化を自然科学と政治・経済の面から丁寧に解き明かしています。	451.85/A	3F ブックレット
『戦争って環境問題と関係ないって思ってた』田中優 岩波書店 2006 →一見無関係な戦争と環境問題が実は密接につながることわかりやすく解説しています。	319.8/T	3F ブックレット
『ほんとうの環境問題』池田清彦、養老孟司 新潮社 2008 →環境問題の本質を大胆に語る二人。視点を変えて考えるために。	519/I	3F
『環境微生物学』久保幹ほか 化学同人 2012 →地球上で黙々と物質循環・環境浄化を担っている環境微生物を理解するための教科書的図書です。	519/K	3F

》》》 図書を探す 《《《

まずは、学内の関連図書を探しましょう。

■テーマの書架へ行って探す

【関連分野の分類番号】

319	核問題・国際問題	450	地球科学・地学
451	気象学・気候変動	480	動物保護
518	衛生工学・都市工学・ごみ	519	環境問題・公害
539	原子力・核・放射線	543	発電
654	森林保護		

■OPACで探す

→簡易検索で“環境問題”などと入れ、「資料種別」を「図書」で絞り込みましょう。

→配架場所が研究室の場合は、カウンターでご相談ください。

【図書館で所蔵している図書の一例】

	資料情報	請求記号	配架場所
環境問題とは	『地球環境クライシス：未来へつなぐ命のバトン』 高野拓樹 ムイスリ出版 2016	519.04/K	3F
環境と科学の歴史	『環境と経済の文明史』細田衛士 NTT 出版 2010	519/H	3F
環境と科学： 化学物質と環境	『メス化する自然』デボラ・キャドバリー 集英社 1998 『奪われし未来 改訂版』シーア・コルボーンほか 翔泳社 2001	519/C 519/U	3F
地球規模の環境問題： 地球温暖化	『人類と気候の 10 万年史：過去に何が起きたのか、これから何が起こるのか』中川毅 講談社 2017	B451.85/ N	3F 新書
地球規模の環境問題： オゾン層	『気候変動監視レポート』気象庁 2000	451.85/K	3F
地球規模の環境問題： 酸性雨	『酸性雨 誰が森林を傷めているのか?』畠山史郎 日本評論社 2003	519.3/H	3F
地球規模の環境問題： 砂漠化	『中国で環境問題にとりくむ』定方正毅 岩波書店 2000	B519.222 /S	3F
保全生態学	『創造 生物多様性を守るためのアピール』エドワード・O.ウィルソン 紀伊國屋書店 2010	519.8/W	3F
環境保全：制度	『循環型社会 科学と政策』酒井伸一 有斐閣 2000	519/J	3F
環境保全：市民活動	『地域生態学からのまちづくり 共生環境のマネジメント』上甫木昭春 学芸出版社 2009	519.8/K	3F
環境保全：生活実践	『考えてみませんか?ごみ問題』岩佐恵美 新日本 出版社 2009	518.52/I	3F

本学に限らず広く図書を探してみましょう。

- NDL-OPAC 国立国会図書館の蔵書目録です。国内で刊行されたほとんどの図書が検索できます。
- Webcat-Plus 「連想検索」で図書を検索できます。また、所蔵している図書館も表示されます。
- CiNii Books 論文検索データベースですが「大学図書館の本をさがす」のところから日本の大学図書館の蔵書から検索でき、所蔵館が表示されます。
- 新書マップ 入手しやすく入門的資料になりやすい新書を、テーマに基づいて探すことができます。連想検索機能があり、キーワードなどから瞬時に関連図が作成されます。

>>> 雑誌・雑誌記事を探す <<<

テーマに関連した研究を進める上で、論文や雑誌記事は欠かせません。出版されるまでの時間が短いのでタイムリーな話題が掲載されています。

■雑誌記事や論文を探す

- CiNii 国内の学術雑誌・一般雑誌の論文や記事を検索できます。
→「地球温暖化」と入れて検索すると、次のような論文が表示されます。(一例)

CSR による企業の森づくりの特徴について
小林克己、宮林茂幸
東京農業大学農学集報 56(4), 275-283, 2012
CiNii PDF オープンアクセス

このように、「**CiNii-PDF**」「**機関リポジトリ**」「**CiNii-Link1**」というマークがついていれば、全文を読むことができます。(有料のため見られないという例外もあります)

>>> 新聞記事を探す <<<

最新のニュースや動向などは、新聞が重要です。読むことができる一般紙・専門紙は次のとおりです。

●原紙

資料情報	種類	所蔵範囲
朝日新聞	一般紙	過去3ヶ月程度
北海道新聞	一般紙(ブロック紙)	過去1年程度
毎日新聞	一般紙	過去3ヶ月程度
読売新聞	一般紙	過去1年程度
産経新聞	一般紙	過去3ヶ月程度
日本経済新聞	専門誌	過去3ヶ月程度

*朝日新聞については、縮刷版の所蔵もあります。(1948.1-2011.3~書庫)

●新聞データベース

「聞蔵ビジュアルII」(学内のみ) ~キーワード・日付などから検索できます。

→「地球温暖化」と入れて検索すると、次のような記事が見つかります。(一例)

最も暑い10年 2001~10年、世界の気温
2012年3月24日 夕刊 1社会面 19ページ

>>> 専門的な情報源・統計 <<<

更に深くテーマを掘り下げるには、白書や統計・法令などの情報源が役立ちます。

【図書館で所蔵している資料の一例】

資料情報	請求記号	配架場所
『地球温暖化統計データ集』三冬社 2011	R451.85/S	3F 参考図書
『環境六法』中央法規 2009	R519.12/K	3F 参考図書
『環境史年表 明治・大正』河出書房新社 2003 『環境史年表 昭和・平成』河出書房新社 2004 →「食・健康」「生活一般」「自然・科学」「開発・公害・社会」 の各視点から近代~現代の環境問題を詳細に記録しています。	519.21/S 519.21/S	3F
『環境白書』環境省 各年度 (web上でも見られます) http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/	R519.2/K	3F 参考図書
『北海道環境白書』北海道環境生活部 各年度 (web上でも見られます) http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ksk/hakusyo/hakusyo_top.htm	R519.11/H	3F 参考図書

>>> Web サイト <<<

関連サイトには次のようなものがあります。

●環境省 <http://www.env.go.jp/>

→地球環境保全・公害・自然保護等、また東日本大震災に関する施策や状況を公開しています。

『環境白書』や環境総合データベースなどを利用できます。

*大気汚染物質広域監視システム「そらまめ君」、リアルタイムで日本各地の状況を
提供しています。 <http://soramame.taiki.go.jp/>



●国土交通省 <http://www.mlit.go.jp/index.html>

→「総合政策」から環境ポータルサイトを開くと、環境政策や、環境関連のデータが公開されています。

●国立環境研究所 <http://www.nies.go.jp/index-j.html>

→豊富なデータベースのほか、環境情報をわかりやすく提供する「環境展望台」、日本国内の環境の状況

を地図上に表示する「環境 GIS」などがあります。

- 地球環境パートナーシッププラザ（GEOC） <http://www.geoc.jp/>
→環境省と国際連合大学が共同で運営する環境情報センター。
- EPO 北海道 <http://www.epohok.jp/>
→持続可能な社会の形成を目的として、北海道における環境保全活動推進の基盤づくりを行っています。
- SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ (IPSI) <http://satoyama-initiative.org/ja/>
→二次的自然環境を持続可能な形で保全・利用するために行動する団体です。2010年に愛知県で開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）において創設されました。

図書館にない資料を入手するには

■直接利用

所蔵している図書館を調べ（CiNii Books など）直接出向いて閲覧することができます。

★北海道地区大学図書館相互利用サービス…学生証を提示し、利用登録手続きをすると、閲覧や館外貸出が可能です。（道内 39 大学 47 館）

★その他の大学図書館…おおむね、学生証の提示で閲覧が可能ですが、各大学図書館のホームページで確認してから訪問しましょう。

*「紹介状」が必要な場合は発行しますので、カウンターで申し込んでください。

★国立国会図書館…満 18 歳以上であれば誰でも利用できます。

★北海道立図書館…北海道内に居住している方・帰省先などがある方は誰でも利用できます。

■複写取り寄せ・現物貸借

他大学・国立国会図書館・道立図書館から、資料の複写物・図書現物を取り寄せることができます。申込用紙に記入の上、申し込んでください。

*国立国会図書館から借りた場合は、館内閲覧のみです。ご承知おきください。

■リクエスト

要望があれば、購入します。リクエストカードに記入して申し込んでください。

*絶版などの理由で購入できない場合もあります。